

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
【部門区分】第3部門第3区分  
【発行日】平成17年10月27日(2005.10.27)

【公開番号】特開2005-240049(P2005-240049A)

【公開日】平成17年9月8日(2005.9.8)

【年通号数】公開・登録公報2005-035

【出願番号】特願2005-155523(P2005-155523)

【国際特許分類第7版】

C 0 8 L 71/02

【F I】

C 0 8 L 71/02

【手続補正書】

【提出日】平成17年6月3日(2005.6.3)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

全分子末端基の50%以上が加水分解性ケイ素基である分子量8000～30000の高分子重合体(I)、および高分子重合体(I)100重量部に対し、全分子末端基の50%未満が加水分解性ケイ素基である分子量4000～30000の高分子重合体(II)1～200重量部を含有する室温硬化性組成物。

【請求項2】

高分子重合体(I)の主鎖および高分子重合体(II)の主鎖とともに本質的にポリエーテルである請求項1の室温硬化性組成物。

【請求項3】

室温硬化性組成物が実質的に可塑剤を含有しない、請求項1または2に記載の室温硬化性組成物。

【請求項4】

全分子末端基の50%以上が加水分解性ケイ素基である分子量8000～30000の高分子重合体(I)100重量部に対し、全分子末端基の50%未満が加水分解性ケイ素基である分子量4000～30000の高分子重合体(II)1～200重量部を混合することを特徴とする室温硬化性組成物の製造方法。